

Nitto では豊かな地球を次世代に引き継ぐため、2022年5月にカーボンニュートラルを宣言、さらにカーボンネガティブへ向けた事業を推進し、持続可能な環境・社会を実現するため、脱溶剤や省エネによる消費エネルギー削減に加え、製造工程での排出が避けられないCO<sub>2</sub>の回収などのネガティブエミッション技術の開発を加速させ、CO<sub>2</sub>削減のためのトータルソリューションとしての提案に向けて取り組んでいます

Nitto が実現コンセプトとして打ち出したネガティブエミッションファクトリー構想では、2050年のカーボンニュートラルの確実な実現に向けて、これまで培ってきたCO<sub>2</sub>の回収・捕捉・輸送・化学変換技術を融合し、事業所において排出が避けられないCO<sub>2</sub>の回収などによるネガティブエミッションを目指します。

Nitto ではその具体的な取り組みとして、滋賀事業所にて、ボイラーの排気ガスをCO<sub>2</sub>ガス分離膜モジュールにて直接回収する実証機を導入し、実証運転を開始いたしました。更に、大気中のCO<sub>2</sub>捕捉やCO<sub>2</sub>の化学変換技術の確立と効率化を推し進め、CO<sub>2</sub>削減から用途もふまえたトータルソリューション提案を通じ、ESGへの取り組みを新たな事業機会に結び、社会課題の解決と経済価値の創造の両立を加速させ、さらなる飛躍を目指します。



CO<sub>2</sub>ガス回収実証試験機（滋賀事業所内）